

債 務 に 関 す る 計 算 書

平成14事業年度において、債務を負担することができる事項と事項毎の限度額は、研究開発に必要な経費 34,800,971,000 円（内訳は、人工衛星の総合開発に必要な経費 17,366,076,000円、宇宙環境利用の総合推進に必要な経費 6,859,499,000円、宇宙輸送システムの開発に必要な経費 10,575,396,000 円である）、施設整備に必要な経費として 459,621,000 円、情報収集衛星システム開発等受託に必要な経費 5,648,112,000 円で、合計 40,908,704,000 円である。

これらの限度額に対して債務を負担した金額は、研究開発に必要な経費 34,356,518,214 円（内訳は、人工衛星の総合開発に必要な経費 17,149,102,650円、宇宙環境利用の総合推進に必要な経費 6,674,536,564円、宇宙輸送システムの開発に必要な経費 10,532,879,000 円である）、施設整備に必要な経費 459,375,000 円、情報収集衛星システム開発等受託に必要な経費 5,516,299,000 円で、合計 40,332,192,214 円である。

平成13事業年度末の債務の残額は、研究開発に必要な経費 109,065,568,336 円（内訳は、人工衛星の総合開発に必要な経費 28,371,551,707 円、宇宙環境利用の総合推進に必要な経費 55,710,093,618 円、宇宙輸送システムの開発に必要な経費 24,444,586,651 円である）、施設整備に必要な経費 10,807,641,560 円、情報収集衛星システム開発等受託に必要な経費 38,887,595,700円、合計158,221,469,236円であり、これに平成14事業年度に債務を負担した 40,332,192,214 円を加えると債務の総額 198,553,661,450 円となり、これに対して平成14事業年度の債務消滅額は、 110,185,402,571 円であるから、平成14事業年度末の債務の残額は、 88,368,258,879 円である。

事 項	平成13事業年度末 の債務の残額	平成14事業年度 の債務負担額	平成14事業年度 の債務消滅額	平成14事業年度 末の債務の残額	支出を必要とする年度
	円	円	円	円	
【出資金部門】	12,302,641,608	0	12,302,641,608	0	
研究開発に必要な経費	11,763,305,248	0	11,763,305,248	0	
人工衛星の総合開発に必要な 経費	8,262,454,768	0	8,262,454,768	0	
宇宙環境利用の総合推進に必 要な経費	1,581,582,230	0	1,581,582,230	0	
宇宙輸送システムの開発に必 要な経費	1,919,268,250	0	1,919,268,250	0	
施設整備に必要な経費	539,336,360	0	539,336,360	0	
【研究費補助金部門】					
研究開発に必要な経費	96,762,926,728	34,356,518,214	51,798,122,413	79,321,322,529	
人工衛星の総合開発に必要な 経費	20,109,096,939	17,149,102,650	17,955,985,158	19,302,214,431	平成14, 15, 16, 17 事業年度
宇宙環境利用の総合推進に必 要な経費	54,128,511,388	6,674,536,564	17,851,958,340	42,951,089,612	平成14, 15, 16, 17, 18 事業年度
宇宙輸送システムの開発に必 要な経費	22,525,318,401	10,532,879,000	15,990,178,915	17,068,018,486	平成14, 15, 16, 17 事業年度
【施設整備費補助金部門】					
施設整備に必要な経費	10,268,305,200	459,375,000	8,616,123,050	2,111,557,150	平成14, 15 事業年度
【情報収集衛星システム開発等 受託収入部門】					
情報収集衛星システム開発等 受託に必要な経費	38,887,595,700	5,516,299,000	37,468,515,500	6,935,379,200	平成14, 15 事業年度
合 計	158,221,469,236	40,332,192,214	110,185,402,571	88,368,258,879	